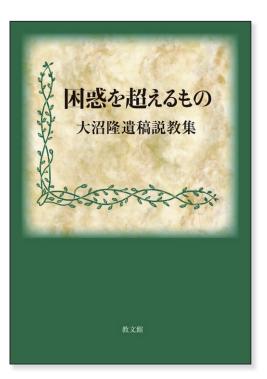
困惑を超えるもの

大沼隆遺稿説教集

大沼 隆 著



「信仰とは、困惑があっても それを超えて生きてゆくことである」

日本基督教団仙台川平教会主任担任教師、宮城学院宗教総主事などを務め、東北の地で50年にわたり伝道に奉仕した牧師が遺した説教集。 膨大なノートの東から掬い上げられた、生涯をかけて福音をあかしし続けた著者による心打つ魂の言葉。

《著者紹介》大沼 隆 (おおぬま・たかし) … 1933 年東京に生まれる。1960 年東京神学大学大学院修了。仙台外記丁教会(現・仙台川平教会)に主任担任教師として赴任。1963~65 年ボストン大学大学院神学部留学、宗教心理学・牧会カウンセリングを専攻 (STM)。帰国後、東北大学大学院心理学研究室研究員を経て、1970~94 年宮城学院中学校高等学校教員(そのうち延べ15 年間は校長職)。2001~10 年宮城学院宗教総主事。2021 年逝去。著書に『見たから信じたのか――小説教集』(教文館、2004 年)、訳書に E. H. エリクソン『青年ルター』(教文館、1974 年) がある。

B6 判・並製・328 頁・定価 1,650 円 (本体 1,500 円+税)・ISBN 978-4-7642-9999-3 C0016